

ウマノオバチ *Euurobracon yokahamae* (Dalla Torre)

【選定理由】

雑木林が減少し、宿主であるシロスジカミキリが少なくなったことによって生活の場を失い、元来少ない個体数が極端に少なくなった。

【形態】

体長 15～24mm。体は黄赤褐色で、腹部は暗褐色を帯びる。翅は赤黄色を帯び、外縁は広く暗褐色。前翅に 3 個、後翅に 1 個の黒紋がある。♀の産卵管は体の 7～9 倍にもなる。

【分布の概要】

【県内の分布】

全県の丘陵地の雑木林に分布していた。

【国内の分布】

本州、四国、九州。

【世界の分布】

台湾。

【生息地の環境／生態的特性】

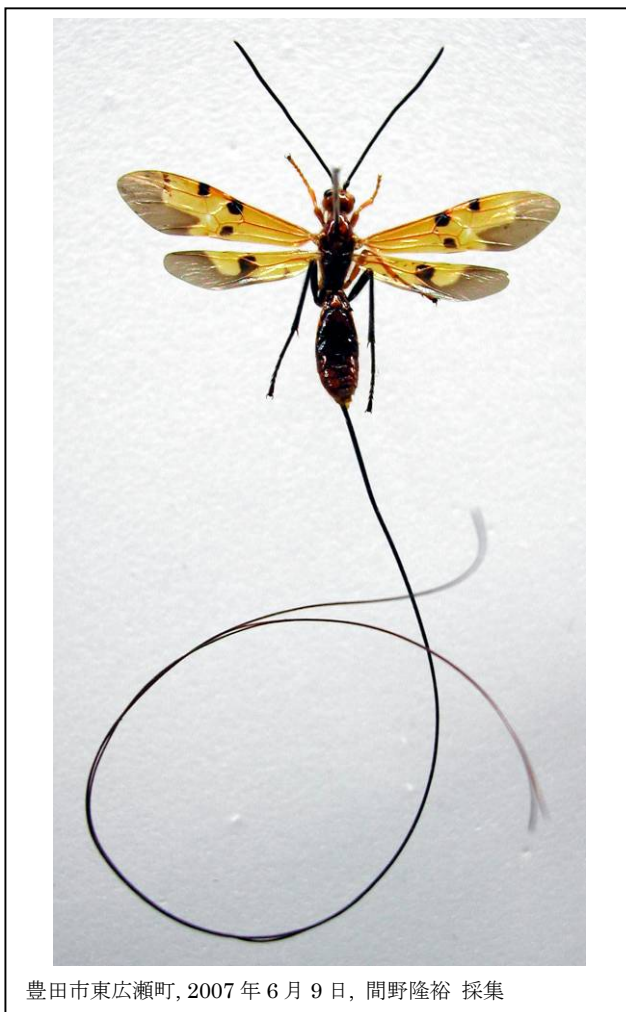
二次林の雑木林に生息しているシロスジカミキリやミヤマカミキリなどの大型のカミキリムシ科に寄生生活をしている。5 月頃に雑木林で見られる。

【現在の生息状況／減少の要因】

わずかに残された丘陵の雑木林に発生しているが、それらの林は開発の対象となりやすく、生活の場が減少している。しかし、近年農業従事者の減少から栗林が放置されることが多くなり、それらの放置林で発生が見られるようになった。

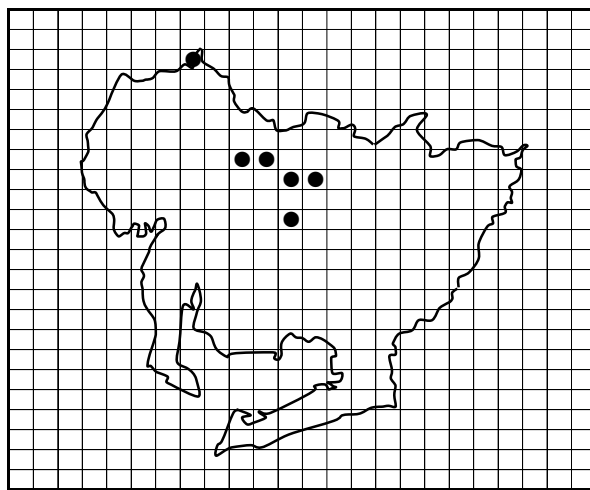
【保全上の留意点】

二次林の育成、都市郊外に残存する雑木林で現在も少数ながら発生しているので、それらの林が開発によって消えない対策が必要である。



豊田市東広瀬町, 2007 年 6 月 9 日, 間野隆裕 採集

県内分布図



(2009 年版を一部修正)